

# 平成29年度 学校経営計画及び学校評価

## 1. めざす学校像

四條畷学園高等学校  
校長 飯田 英佳

本学園で学ぶ生徒が、より良い人間関係と充実した教育環境のもとで、人格・個性を尊重され、学習や行事・活動を通して確かな学力と社会性を身につけ、豊かな人間性を育み、やがて社会の中で活躍し未来を切り拓いていく力を培う教育を実践する。

- (1) 個性を伸ばし自らの成長に向けて努力する人を育てる。
- (2) 自主的に何事にも積極的に取り組む人を育てる。
- (3) 実践を通して知識・技能を一層深く学ぶ人を育てる。
- (4) 礼儀を身につけより良い人間関係を築こうとする心豊かな人を育てる。

## 2. 中期的目標

- 【1】建学の精神と教育理念にもとづく学校経営計画及び教育計画を策定・実践する。**
- (1) あらゆる教育計画・活動に本校の教育理念・方針の一層の浸透を図る。  
ア 学年・校務分掌等の教育活動計画を改善し、理念・方針を浸透させる。
  - (2) 教育計画の実践に向け教職員の資質向上を図り学校運営体制を改善・整備する。  
ア 教職員の資質・能力の向上を図るために研修内容の充実を図る。  
イ 組織の連携及び会議の機能を強化し、課題に対してチームで対応する。
  - (3) 総合学園としての教育環境を有効に活用した学内連携教育を実施する。  
ア 総合学園としての教育環境を活用し、高大・高短等の連携教育を実施する。
- 【2】18歳の高校生に求められる学力及び態度・諸能力の基盤を養成する。**
- (1) 学習指導において、主体的・協働的な学びを実践する。  
ア 基本的知識の習得及び思考力・判断力・表現力の養成のために授業改善を行う。  
イ 対話力・課題発見・解決力等を養うための主体的・協働的な授業を行う。
  - (2) 生徒指導において、集団・社会に貢献できる態度・実行力を身につける。  
ア すべての教育活動を通して規律ある生活態度や礼儀・マナーを身につける。  
イ 活動・行事等を通して協調性・責任感・行動力などの社会性を身につける。
  - (3) 部活動を通して自らの心身を鍛え社会性を獲得する。  
ア 技能を磨き目標に向けて努力し続ける中で心身を鍛える。  
イ 仲間と共に目標の実現に向けて活動する中で社会性を身につける。
  - (4) あらゆる教育活動において、良き市民・社会形成者としての態度・能力の基盤を養う。  
ア 民主主義社会を担う主権者としての自覚を促す教育を実施する。  
イ 将来の社会を担う健全な市民となれるよう市民性を育む教育を実施する。
  - (5) 国際交流を推進し多様な文化を理解し認め共生できる国際的資質を育む。  
ア 短期・長期の留学派遣及び海外から研修・留学生の受入れを実施する。  
イ 英語科を中心にあらゆる教育活動を通して国際理解教育を推進する。
- 【3】人としての在り方生き方を考え、他者と共により良く生きていくための人権意識を養う。**
- (1) 自己及び他者を尊重し共により良く生きようとする態度を養う。  
ア 人権学習を実施し人権問題への理解と解決に向けた態度を身につける。  
イ 学級生活や活動を通し仲間と共に調和して生活しようとする態度を養う。
  - (2) 生徒が抱えている課題に対してニーズに応じたきめ細かい相談・支援を行う。  
ア 学習・生活・心身等の課題を抱える生徒に丁寧に対応し支援を行う。  
イ 生徒のニーズを把握し、教職員が連携して適切な特別支援教育を実施する。
- 【4】進路目標の実現に向けて未来を切り拓く力を養うキャリア教育を実施する。**
- (1) 自分を見つめ、未来に目標を持ち、その実現を可能とする能力を養う。  
ア 自分の興味・関心を知り進路目標を考える学習を実施する  
イ 上級学校や職業に対する関心・意欲を高める体験的学習を実施する
  - (2) 生徒の希望・目標を実現させることができるよう進路相談・支援を行う。  
ア 進路選択に必要な情報を提供し、目標設定や実現に向けた相談・助言を行う。  
イ 放課後・長期休業期間を含む進路指導体制を整備し講習等を実施する。
- 【5】安心・安全な社会を築くための態度と行動力を養う。**
- (1) 防災・減災に向けた防災教育・訓練を実施する。  
ア 防災・減災に向けた行動が取れるよう状況に応じた訓練を実施する。  
イ 自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める。

# 平成29年度 学校経営計画及び学校評価

## 3. 本年度の取組内容及び自己評価

### 【学校全体】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
<p><b>【1】教育理念に基く学校経営計画及び教育計画</b></p> <p><b>【2】高校生としての学力及び態度・諸能力の基盤養成</b></p> <p><b>【3】他者とともにより良く生きていくための人権感覚</b></p> <p><b>【4】未来を切り拓くキャリア教育・進路指導</b></p> <p><b>【5】安心・安全な社会を築くための態度と行動力</b></p>	<p><b>【1】</b> (1) 理念・方針にもとづく教育計画の再構築 (2) 教職員の資質向上と学校運営体制を改善・整備</p> <p><b>【2】</b> (1) 主体的・能動的な学びの実践 (2) 集団・社会に貢献できる態度・実行力 (3) 部活動を通して心身の鍛錬 (4) 市民性を育む教育 (5) 国際的資質を育む教育</p> <p><b>【3】</b> (1) 自己・他者が共により良く生きようとする態度 (2) 一人ひとりのニーズに応じた指導</p> <p><b>【4】</b> (1) 未来の目標を実現する能力 (2) 生徒の目標を実現させる進路相談・支援</p> <p><b>【5】</b> (1) 防災・減災に向けた防災教育・訓練を実施</p>	<p><b>【1】</b>(1) ア 学年・校務分掌等の教育活動計画を改善 (2) ア 教育課題に即した研修の充実を図る</p> <p><b>【2】</b> (1) ア ①基本的な知識・技能の習得のための授業改善を行う ②思考力・判断力・表現力の養成のための授業改善を行う イ 対話力・課題発見・解決力等を養うための主体的・協働的な授業を行う (2) ア 基本的な生活態度を改善する イ 活動・行事等を通して社会性を身につける (3) ア 自らの心身を鍛える。 イ 部活動を通して社会性を身につける (4) ア 市民性・主権者意識を育む教育を実施する (5) ア 研修生・留学生の派遣、受入れを実施する</p> <p><b>【3】</b>(1) ア 人権問題への適切な理解と態度を身につける学習を実施する イ 学級生活や活動を通して仲間と共に調和して生活しようとする態度を養う (2) ア 様々な課題を抱える生徒一人ひとりに丁寧に対応し支援を行う イ 生徒のニーズを把握し教職員が連携して特別支援教育を実施する</p> <p><b>【4】</b>(1) ア 自分の興味・関心を知り進路目標を考える学習を行う イ 職業に対する関心・意欲を高める体験的学習を実施する (2) ア 進路情報を提供し、相談・助言を行う。イ 放課後・休業中の講習を実施し、進路指</p>	<p><b>【1】</b>(1) ア 平成29年度教職員自己評価点を4.1とする。 (2) ア 平成29年度教職員自己評価点を3.8とする。</p> <p><b>【2】</b>(1) ア ①平成29年度生徒評価点を3.7、教職員評価点を4.1とする。 ②平成29年度教職員評価点を3.8とする。 イ 平成29年度教職員自己評価点を教員3.8とする。 (2) ア 平成29年度生徒評価点を3.6、教職員評価点を4.2をとする。 イ 平成29年度生徒評価点を3.8、教職員評価点を3.9とする。 (3) ア 平成29年度教職員自己評価点を4.1とする。 イ 平成29年度教職員自己評価点を4.1とする。 (4) ア 平成29年度生徒評価点を3.2、教職員自己評価点を3.4とする。 (5) ア 平成29年度教職員自己評価点を4.4とする。</p> <p><b>【3】</b>(1) ア 平成29年度生徒評価点を3.8、教職員評価点を3.9とする。 イ 平成29年度生徒評価点を3.8、教職員評価点を3.9とする。 (2) ア 平成29年度生徒評価点を3.5、教職員評価点を4.1とする。 イ 平成29年度教職員自己評価点を3.7とする。</p> <p><b>【4】</b>(1) ア 平成29年度生徒評価点を3.8、教職員評価点を3.9とする。 イ 平成29年度生徒評価点を3.8、教職員評価点を3.9とする。 (2) ア 平成29年度生徒評価点を3.7、教職員評価点を4.2とする。 イ 平成29年度教職員評価点を4.0とする。</p>	

## 平成29年度 学校経営計画及び学校評価

導体制を整備する。

【5】(1)ア 防災・減災に向けた訓練を実施する。  
イ 自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める。

【5】(1)ア 平成29年度教職員自己評価点を4.3とする。

イ 平成29年度生徒評価点を3.7、教職員自己評価点を3.9とする。

# 平成29年度 学校経営計画及び学校評価

## 3. 本年度の取組内容及び自己評価

### 【施設・設備】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
(1) 体育館の改修 (2) 総合ホールの改修 (3) 情報教室のパソコン更改 (4) ICT教育・AL学習推進のための教室整備	(1) ①体育館の空調の新設 ②体育館2階フロアへの車椅子用スロープの設置 (2) 総合ホール5F講堂の空調の新設 (3) 第二飯盛嶺校舎3F情報教室のパソコン更改(約40台) (4) 第二飯盛嶺校舎の一部教室をICT教育・AL学習推進のための教室として整備	(1) ①夏期の体育授業・集会及び部活動における熱中症対策等として空調を設置 ②車椅子使用生徒のため、また災害時における車椅子使用の避難者に対応できるスロープの設置 (2) 夏期の体育授業・集会及び部活動における熱中症対策等として空調を設置 (3) 設置後5年以上経過するパソコン約40台を更改 (4) ICT教育・AL学習を実施するため拠点教室として必要な設備・備品を整備	(1) ①体育館の空調の新設計画 100% ②体育館2階フロアへの車椅子用スロープの設置計画 20% (2) 総合ホール5F講堂の空調の新設計画 20% (3) 第二飯盛嶺校舎3F情報教室のパソコン更改計画(約40台)20% (4) 第二飯盛嶺校舎の一部教室をICT教育・AL学習推進のための教室として整備計画 100%	

# 平成29年度 学校経営計画及び学校評価

## 3. 本年度の取組内容及び自己評価

### 【教育・研究】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
(1)AL授業の研究と実践を推進 (2)ICT教育の研究と実践を推進 (3)新学習指導要領の方向性を踏まえた教育課題の研究と課題解決に向けた活動を推進	(1)AL授業の研究と実践を推進 (2)ICT教育の研究と実践を推進 (3)新学習指導要領の方向性を踏まえた教育課題の研究と課題解決に向けた活動を推進	(1)AL授業の実施に向け、研修・報告・実践の機会を提供 (2)ICT教育の実施に向け、研修・報告・実践の機会を提供 (3)新学習指導要領の方向性を踏まえた教育課題の研究と課題解決に向けた活動を推進するためのチームづくりと研修・報告の機会を提供	(1)AL授業の研究と実践を推進 平成29年度教職員自己評価を3.8とする (2)ICT教育の研究と実践を推進 平成29年度教職員自己評価を3.5とする (3)新学習指導要領の方向性を踏まえた教育課題の研究と課題解決に向けた活動を推進 平成29年度教職員自己評価を3.5とする	

# 平成29年度 学校経営計画及び学校評価

## 3. 本年度の取組内容及び自己評価

### 【社会貢献】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
(1)地域公立中学校との連携を強化 (2)部活動を中心とした地域社会の活動に貢献	(1)地域公立中学校の進路指導に対する協力と交流の充実 (2)部活動を中心とした地域社会の活動に対する協力と交流の充実	(1)①地域公立中学校の要請にもとづく出張授業及び高校説明会の協力実施 ②地域公立中学校の要請にもとづく高校体験学習の受入れ協力実施 (2)①部活動を中心とした地域の学校・福祉施設での演技・演奏の協力実施と交流 ②保育コースを中心とした地域の幼稚園・保育所等での演技・発表の協力実施と交流 ③部活動を中心とした地域の交通安全・人権啓発・記念行事等での演技・演奏の協力実施	*各項目とも本校の都合がつかない限り積極的に協力する。	

# 平成29年度 学校経営計画及び学校評価

## 3. 本年度の取組内容及び自己評価

### 【その他】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
<p>【1】進路指導の実績向上</p> <p>【2】災害対策の強化</p> <p>【3】リスク管理体制の強化</p>	<p>【1】進路指導の実績向上 (1)国公立大学合格者増 (2)有名私立大学合格者増 (3)学園大学合格者増</p> <p>【2】災害対策の強化 (1)防災訓練の充実 (2)教職員の安全・防災意識の向上</p> <p>【3】リスク管理体制の強化 (1)コンプライアンス管理体制の整備 (2)リスク管理体制の整備</p>	<p>【1】進路指導 (1)国公立大学合格5名 (2)有名私立大学合格30名 (3)学園大学合格15名</p> <p>【2】災害対策 (1)地震・火災等状況に応じた防災訓練の実施 (2)地震・津波・豪雨・台風等さまざまな自然災害に対する防災意識の向上</p> <p>【3】リスク管理 (1)①法令遵守意識・人権意識の浸透 ②教職員行動規範の浸透 (2)①リスク未然防止意識の向上 ②リスク報告の徹底と迅速・適切な対応 ③リスク発生防止体制の改善・整備 ④リスク防止・リスク対応が可能となる職場環境の整備</p>	<p>【1】 (1)国公立大学合格5名 (2)有名私立大学合格30名 (3)学園大学合格15名</p> <p>【2】 (1)教員評価4.0 (2)教員評価3.7</p> <p>【3】 (1)①教員評価4.0 ②教員評価4.0 (2)①教員評価4.0 ②教員評価4.0 ③教員評価4.0 ④教員評価3.8</p>	